

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4-(3)	運営推進会議構成委員でグループホームに広く見識を持っている方が少ない。法人外の第三者、かつ認知症グループホームについて広く見識をもつものの、登用したい。	近隣のグループホーム管理者の協力をもらう。	地域包括支援センターに協力してもらい、近隣のグループホームへつないでもらい、運営推進会議への参加を行ってもらう。グループホームに広く見識を持っている為、今後の運営に力になってもらう為取り組んでいく。	3ヶ月
2	6-(5)	身体拘束適正化委員会の職員の参加、欠席者への周知の徹底が少ない。議事録の書式の見直し。	参加の有無、内容の共有を徹底する。	身体拘束適正化委員会の参加者の記載、欠席者のサインなど、また議事録の配布等も徹底し情報の共有を図る。	3ヶ月
3	35-(16)	地域協力を得た、災害時の訓練、夜間想定等徹底を行う。	年に2回の昼夜の災害想定訓練の強化、BCPの都度見直しを行う	年に2回の災害訓練は行うが、定期的な訓練の実施を行う。卓上訓練やシミュレーション、地域避難訓練等積極的な実施を図る。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。